

伊久美小学校の学校再編計画（案）説明会 記録

- 1 日 時 令和元年6月26日（水）午後7時から午後8時30分まで
- 2 会 場 伊久美小学校
- 3 参加者 伊久美小学校保護者、伊久身住民
伊久美小学校教員、島田市教育委員会
- 4 参加人数 26人（保護者15人、地域住11人）

5 教育委員会より説明

（1）再編計画（案）について

全国の調査で最も多い統合の基準は、一学年20人以下となった場合、次に多いのは単学級の学年ができた場合、3番目が一学年10人以下となった場合となっており、島田市では一学年20人以下は早期統合を検討すべきとさせていただきました。

3月の意見交換会や5月の説明会のアンケートには少しでも早い統合をとというものがありました。島一小の改修・改築に合わせて、新校舎でのスタートを切れるように令和6年度まで待つていただくことで計画させていただいております。過疎化対策をとという御意見についてですが、市全体で考える問題ですので、金谷地区のアウトレットやにぎわい交流拠点などによる雇用の創出も対策の一つと考えています。道路整備も進んできているので、通勤できる範囲も広がってきたので、住み続けながら働いてくれる方がいてくれたらと思います。川根小の自己肯定感が低いという御意見についてですが、学級崩壊のあった1学年を除けば、決してそんなことはありませんでした（※1）とお伝えしておきます。

統合のメリットは、切磋琢磨と多様な意見に触れる機会が増えることです。意見がもまれることで、一層自信が持てるようになりますし、将来への夢も広がってきます。運動会などもダイナミックなことを経験できるようになります。デメリットは、授業で発表する機会が減ってしまうことです。意欲をもって手を挙げない限り、発表しなくなってしまうからです。ですから、統合後の1学期の間くらいは戸惑うと思いますので、ぜひ保護者の皆様からも応援をしてあげていただきたいです。もう一つのデメリットは、学校全体で動くことが難しくなり、小回りがきかなくなることです。

※1 過去の事例を引用したもので、現在の状況を指しているものではありません。

6 計画（案）の内容説明

（1）統合時期

北中学校と島田第一中学校は部活動等を理由に私学に入学する子が多いことから、最短で実施できる令和3年に統合という計画となりました。北部4小学校については、島一小の改修・改築に合わせて、令和6年となっております。

（2）通学方法

学年によって下校時刻が変わることがあってコミバス対応は難しいため、小学校中学校ともにスクールバスを考えています。

（3）学校間交流活動

段階的に、まずは北部4小学校による学校間交流を進めていき、その後、島田第一小学

校との交流にも力を入れていき、新たな仲間づくりの場とします。

(4) 教員の配置

もともとの学校にいた教員を島一小に配置していきます。

(5) 特色ある教育

伊久身で自然体験ができる教育活動を残していきます。

(6) 特認校

伊久美小学校を統合することになりますので、他地域における継続を検討しています。

(7) 学校の跡地

副市長をトップとした市役所の幹部職員で学校施設跡地利活用検討委員会を組織し、市全体で取り組んで生きます。学校区ごとにワーキンググループを行うなど、地域の意見を取り入れながら、地域づくりを絡めて検討していきます。また、実施計画に登載するなど、その実効性を担保していきます。

(8) 学級編成

全部のクラスに均等に分けるようなことはしないで、孤立しないようなバランスでクラス分けしていきたいと思っています。

8 質疑応答

●令和6年度の統合ということだが、特認校を利用する場合は来年度から他校に変わるのか。例えば、伊久美小学校での特認校は来年度から廃止なのか。

⇒継続しますので、統合を条件の上での承認をします。他校は、自然環境から川根小ではないかと考えています。

●来年度から川根小の特認校を選択できるようにしないのか。

⇒考えていなかったもので、早急に検討していきます。

●特認校は、学校に通えない子の受け皿だと聞いたことがあるので、残していくのかと思ったが。

⇒自立登校ができることが条件です。通えない子の受け皿として残すことはありません。

●自分は、東京から島四小学区に越してきた就学前の母親です。伊久美小の特認校に興味ある。統合後は島一小になるのなら、姉と同じ島一小に通えるようにしてほしい。

⇒指定学校変更制度で通学校を変える理由にもなると思っていますので、その際にご相談ください。ただし、通学方法だけはスクールバスにはならないので、理解しておいてください。

●統合の形についてですが、吸収なのか新しい学校なのか。校名は変わるのか。

⇒あくまでも対等なので、結果はどうなるか分かりませんが、学校名や校歌についても検討していきます。

●統合前後の児童やクラス数はどんな状況か。

⇒現在の出生数から、令和6年度に692人です。今年の島一小の人数が542人ですので、150人くらい増えます。クラス数は、3クラスから4クラスになります。

●他学年との交流はどうか。また放課後の過ごし方はどうなるのか。

⇒ペアさんというものがあり、6年生と1年生がさまざまな活動を行っています。放課後については、安全を確保した上で放課後児童クラブ等を充実されていくこととなります。また、跡地利用をして北部の学校に放課後児童クラブをおくことも考えられます。⇒スクールバスの時間に合わせて、放課後の過ごし方も決まってくると思います。

●**土日や夏休みのスクールバスについては考えているか。**

⇒コミバス乗車券の配布等を考えています。時間については、コミバスの時間に合わせて部活を終了していくことになると思います。

●**犬間のものだが、どこまでバスは入ってきてくれるのか。**

⇒全ての地域をくまなく回ることはとても難しいです。時間もかかってしまうため、最初に乗った子が一時間以上かかってしまうことも考えられます。

●**統合したらPTAはどうなるのか。**

⇒カリキュラム検討委員会で詰めていきます。委員会にはPTA部会ということも用意して、検討していく予定です。

⇒笹間では、統合後しばらくの間は笹間地区のPTA役員を多くしました。

●**伊久美小学校に放課後児童クラブがあると良いが、夏休みなどは朝送っていかなければならないのか。**

⇒基本的に放課後に受け入れるものなので、保護者が迎えに来てくれることが原則です。夏休みは、8時30分からの受け入れとなっています。

●**特認校が川根小ということだが、川根小自体はどのくらいの規模か。また、川根小との交流はあるのか。**

⇒一学年20人前後です。

⇒川根小との交流についても検討していきます。

●**跡地利用について、わかる範囲で詳しく知りたい。**

⇒第1回目を7月5日に立ち上げます。統合と同時にすぐ跡地で何かが始まるというわけではなく、あくまでの地域の方との話し合いで決まって行きます

⇒伊久身に限っていえば、サタデーオープンスクールを続けていきたいと思っています。すでに地域の方のお力でやってきていますので、他の3校に比べたら進んでいると思います。

●**サタデーオープンスクールが抽選で落ちると聞いている。定員を増やしたらどうか。**

⇒2人の指導員で実施しているので、安全確保の面から定員が決まっています。

●**跡地利活用検討委員会に、伊久身からだれか参加するのか。**

⇒委員会は内部組織ですので、地域の方は入りません。ワーキンググループ等については、今年度中に自治会を通して御案内できればと思っています。

●**伊久美小出身の児童が誇れるように、伊久身での教育活動を実施してほしい。また、小規模での説明会も継続してほしい。**

⇒ぜひ取り入れていきます。

⇒説明会に行いますので、ぜひ御要望ください。